

筆都が育てる  
筆都を育てる

## 熊野高等学校

### 体育祭、開催される！

9月28日、本校グラウンドにおいて体育祭が行われました。前日まで大雨で天候も心配されていましたが、当日は雲一つない秋空に恵られました。全校生徒による若人らしく、すばらしい行進から始まり、各種目でとても良い汗を流していました。

今年も学年対抗ということもあり、経験豊富な3年生が



他学年を引っ張り、時間は過ぎていきました。文化系クラブ対抗リレーや婦人会の方々の応援による筆踊りも行われました。保護者の熱い声援もあり、生徒は力一杯、地を蹴っていました。

何度も何度も練習をしてきた苦しさも良い思い出となった体育祭でした。

保護者・婦人会・地域の方々から応援をいただき、ありがとうございました。



### 土曜日補習スタート！

10月から土曜日補習が始まりました。数学(80分)・英語(80分)の2教科に重点をおいています。

詳しくは次回報告します。

### 今、バレー部が熱い！

体育館の中でスパイク練習トス練習をしながら汗を流しているのは、バレー部です。

3年生も引退し、人数も減りましたが、休日体育館を広く利用し練習をしている姿は、すばらしいものがあります。



## くまの俳壇

### 熊野俳句同好会

#### 【熊野婦人俳句会】

雁渡し破れトタンを吹き鳴らす  
口笛もかるき家路や月見草  
蔓りんだうふり向けば山暮れにけり  
捕らへんと孫の追ひゆく雨蛙  
渡り鳥夫に続きて弟逝く  
妣の文読みかへしをり敬老日

古き家に古き井戸あり実南天  
葉に載せて無花果くるる男の子かな  
雨音に混じり聞ゆる虫の声  
母の愚痴繰り返し聞く蝉時雨  
秋早灰神楽立つ畠かな

#### 【西公民館俳句グループ】

赤銅の肩が土掘る炎天下  
山門に墨書の法語秋の朝  
去ぬ燕なりたり空に群れてをり  
足裏に潮風当る三尺寝  
盆支度終えて安らぐ一人の座  
水鱧を手早くさばく浜の宿  
地藏盆路地の奥までにぎやかに  
農道に古き轍や草繁る  
ひとときを演奏会や夏終る  
空蟬を見て旅つづく山陰路  
白き壺ひまはりを活け窓に置く  
鉄屋根の匂ひたちたり大雷雨

工藤 義夫  
立花 よしえ  
阪本 清子  
遠山 愛子  
久保田 フクヨ  
大田 文子  
上野 啓子  
亀谷 しず恵  
山崎 貞子  
堀野 眞理子  
隠土 信子  
西村 柳子  
別府 藤絵  
渡辺 文江  
長山 法江  
尺田 せつ  
荒谷 逸子  
関村 光子  
南村 マサ子  
進藤 隼美  
沖元 澄江  
喜花 美鈴  
木村 里風子

舟を漕ぐ櫓で後へ行くことは出来ない。櫓は出来る。近頃はエンジンで全力に走る、そんなに急いでどこへ行くのである。ところが、人生は櫓舟の如くであると思う。

ゆつくり前に進む、しかも潮に逆らわずにである。人の世の潮流にも逆らわずに、自分の力で、この方法が長続きするのはなかるうか。自分の力を信じて漕ぐ、決して無理をしないことである。

木村 里風子